

# 脱北者が語る北朝鮮の今

## 国際人権団体 調査員に聞く

食料品の価格は上昇、公開処刑も増えて人権状態は悪化している。国際人権団体ヒューマン・ライツ・ウォッチが実施した最近の脱北者からの聞き取り調査で、北朝鮮住民の過酷な暮らしが明らかになった。調査に携わった同団体の北朝鮮担当、ケイ・ソク調査員（通名、在ソウル）がこのほど来日。北朝鮮で何が起きているのか、ソクさんに尋ねてみた。（篠ヶ瀬祐司）

「物価高騰で売り惜しみが発生、多くの住民は食料品を買えていない。政府の政策で新たな飢餓状態が生まれている」

ソクさんは今月初め、十人ほどの北朝鮮脱出住民（脱北者）らと第二国で面会し、生活などについて聞き取りをした。

年齢や出身地は異なるものの、口をそろえて訴えたのは経済状態の悪化だったという。特に昨年十一月に行われたデノミ

# デノミ失敗 米価50倍



バスの停留所で客待ちをするリヤカー引き。食糧配給制のまひで、こつした個人営業が増えた。2008年9月、平壤市郊外で（張正吉氏撮影・アジアプレス提供）

ネーション（通貨呼称単位の変更）で通貨ウォンを百分の一に切り下げられ、物価が著しく上昇しているという。つまり、八月月ほどで五倍になった計算だ。

「デノミ前、北朝鮮内のコメの価格は約二千ウォン。政府は『デノミ後、住民たちはどう命を

## 自己規制レベル低下

# 金総書記名指し批判



ヒューマン・ライツ・ウォッチ、毎年100本以上の報告書などを発表している。昨年11月には他団体と合同で、鳩山由紀夫首相（当時）あてに、北朝鮮の人権状況改善に向けた日本政府の取り組みを求め、要望書を提出した。

「トウモロコシをませ飯」を食べている。前後になつていった。北朝鮮は一九八〇年代以降、慢性的な食糧不足に悩まされてきた。同国北朝鮮北東部、清津に住んでいた女性は「近所の年間食糧需要量は約五百四十万トとされるが、蓄えが無くなったから商売をしないと家を出て、そのまま戻らなかつた。残り超と推計。この状況にされた三人の小さな子どもは全員死んでしまった」と話したという。

さらにソクさんは「これは一例だが、多岐にわたる自己規制しながら話している。デノミは食糧事情に大きな影響を与えている」（ソクさん）

米価急騰は別の情報筋も確認している。ソウルに本拠を置く北朝鮮情報ネットワーク新聞「デイリーNK」が北朝鮮内部の消息筋からの情報をまとめたところ、今月十五日から二十一日までの米価は「デノミは人々からカネを奪い、政府がもうけた」と、平壤で九百ウォン、約三だけ」と、あからさまに週間前と比べて一・五倍体制を批判したという。

「トウモロコシをませ飯」を食べている。しわ寄せは、より弱い立場の人に集中する。北朝鮮北東部、清津に住んでいた女性は「近所の年間食糧需要量は約五百四十万トとされるが、蓄えが無くなったから商売をしないと家を出て、そのまま戻らなかつた。残り超と推計。この状況にされた三人の小さな子どもは全員死んでしまった」と話したという。

さらにソクさんは「これは一例だが、多岐にわたる自己規制しながら話している。デノミは食糧事情に大きな影響を与えている」（ソクさん）

米価急騰は別の情報筋も確認している。ソウルに本拠を置く北朝鮮情報ネットワーク新聞「デイリーNK」が北朝鮮内部の消息筋からの情報をまとめたところ、今月十五日から二十一日までの米価は「デノミは人々からカネを奪い、政府がもうけた」と、平壤で九百ウォン、約三だけ」と、あからさまに週間前と比べて一・五倍体制を批判したという。

